

# みえDOYU

2010年度 テーマ  
次の時代に向けた変化の一步を踏み出そう!

~ 新しことに始めてますか? ~

VOL 314 2011. 1. 1

広報責任者 水谷彰宏

〒510-0066

四日市市南浜田町 2-14

水谷ビル3F

TEL 059(351)3310

FAX 059(351)9362

<http://www.mie.doyu.jp/> E-mail [mie-doyu@eos.ocn.ne.jp](mailto:mie-doyu@eos.ocn.ne.jp)

## 謹賀新年

~ 新年のご挨拶 ~

三重県中小企業家同友会  
代表理事 服部一彌

あけましておめでとうございます。本年も  
よろしく願い申し上げます。

昨年1年、会員の皆さまには同友会の活動  
にご参加ご協力を賜り、厚く御礼申し上げま  
す。とりわけ、この様な経営環境の中で進  
んで入会されました皆さま、入会を勧めて頂  
きました会員の皆さまに、心より敬意と感謝  
を申し上げます。また私ども三重同友会に  
様々な形でご指導ご鞭撻を賜りました三重県  
庁をはじめ各大学、金融機関、諸団体、関係  
各位の皆さまにもこの紙面をお借りして心よ  
り厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は私たち中小企業を取り巻く経  
営環境においては好転することもなく、厳し  
い情勢が続きました。緊急経済対策として取  
り組まれた政策効果によって、一部の業界で  
は景気回復ともいわれましたが、需要の先食  
いにより政策の終了や削減に伴って、その後  
の反動も大きなものとなりました。また通貨  
戦争ともいわれる為替変動の中で円高が進み、  
大手・輸出企業を中心に大きな影響を与えま  
した。それにより企業の海外進出や生産拠点  
の海外シフトが加速し、国内産業の空洞化へ  
の懸念が強まりました。

国内の経済情勢が混迷を続ける中で、経済

活動のグローバル化そしてBRICSをはじめ  
とした新興国の台頭など時代が大きく変化  
し、企業においてもその変化に応じた変革が  
求められた1年となりました。

2011年の経済は引き続き不透明な状況  
が続くと予想され、中小企業においては一瞬  
たりとも気を抜くことのできない1年になる  
と思います。しかし一方では、国内経済の低迷  
から地域経済の活性化や雇用の受け皿として、  
中小企業への期待はこれまで以上に高まるこ  
とと思います。私たちは、こうした中でも自社  
を守り継承、維持、発展させていく役割と責任  
を担うことを確認し、自らが率先して行動し  
て企業の活性化と変革を実践することが大切  
です。そして経済構造の変化が加速し新たな  
枠組みが作られていく中で、大局的な視野を  
もって戦略的な経営に取り組み、自力で自ら  
の道を切り拓くために様々な問題や課題に立  
ち向かっていかなければなりません。

本年も私たちは、同友会の理念の体現を目  
指してお互いに切磋琢磨し、とくに環境変化  
に対応できる強靱な体質の企業づくり、社会  
や地域の期待に応えられる企業づくりを進め  
て参りたいと思います。そして、地域の皆さま  
に支えて頂ける存在価値と意義のある企業と  
するために自主的主体的に取り組みしていくこ  
とを呼びかけて、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 支部例会だより

南勢支部 12月例会

テーマ

『**当社の理念とこれからの展望**』

報告者 : 安藤大作氏

安藤塾 (株) 代表取締役社長



(安藤氏)

例会は映像と安藤氏の語りから始まりました。それは非常に感動するものでした。

両親が離婚し、新しい母親になじめず、両親の愛情を感じられず寂しい思いをしていた幼い頃。お利

口さんでいようといつも人目を気にしていた。22歳の頃には何時しか「死」を見つめるようになり、台風の最中、死に場所を求めて松本の町を傘もささずに歩いていた。死ぬことはできずに産みの母親に今までの思いを全てぶつけることにした。その時初めて心のツツカエが取れ、初めて母親の愛情を感じた。「自分は愛されているんだ」

こんな経験が、こんな思いが塾を始めるきっかけとなった。自分と同じような悩みを持った子どもたちがいるのではないか。子どもたちが本音・本心を家族に、友達に、先生に話せる。そのことにより子どもたちは愛を感じることができる。それが自分の生きていく自信へとつながっていく。「無限の可能性を子どもたちに感じてもらいたい。」これが安藤塾のまさに「理念」である。

また、ある時安藤氏は病気で倒れることとなった。その時、教え子の何人かが進んで塾を応援すると言い出した。安藤氏は個人の事業に彼らを巻き込むことは彼らのご両親に申し訳ないと安藤塾を株式会社化した。現在は社員30名生徒数400名の塾となり、全国の私塾協会の理事も勤める。

今後は「3つ子の魂100まで」の思いから0歳児からの保育も展開していく。平成2

5年までには全寮制の塾も作りたい。また、保護者にも子どもとの向き合い方、家庭のあり方の指導もしている。

今後の安藤塾が楽しみである。

丸文ビル管理(株) 西尾 新

## シリーズ「同友会と私」第36回

### 「同友会と私」

(株)日永屋 佐藤博之



(佐藤氏)

同友会に入会してはや15年がたちました。

今でも一番印象に残っていることは、入って間もなく例会で自分の会社のことを報告した時です。その時は何をしゃべっていいのかかわからずあたふたしていました。

「まあとにかく自分の会社の良いところ悪いところを説明して、今思っていることを正直にしゃべればいいや。」という気持ちで話をさせていただきました。

つたない報告ではありましたが、そのおかげで自分自身が会社に対する頭の整理ができたし、何よりも会員の皆様にお話ししたことで本当に貴重な意見をいただくことができました。この時初めて同友会の一員になり、同友会に入会してよかったと思いました。

先日の桑名支部の望年例会は多くの方が集まり大変盛り上がりました。早稲田の斉藤君ではありませんが、同友会が何かを持っていると言われれば「本音で語り合える仲間」ということになるのではないのでしょうか。

厳しい経済環境の中だからこそ、同友会の中で「本音」を言い合って、前向きに経営に取り組んでいきたいと思えます。

## 研修会のご案内

経営労務委員会

### 賃金・退職金見直しセミナー

日時：平成23年2月8日（火）

13:00～16:00

会場：同友会事務局4F会議室

講師：古川孝治氏

（株）古川経営 専務取締役

社会保険労務士・行政書士

内容：賃金制度・退職金制度の基本  
人事労務トラブルの予防と対策  
質疑応答

参加費：4,000円

今回のセミナーでは特に退職金の問題を中心に、実際に企業で起こっているトラブルなど実例を元に企業としてどう対応するかをお話しいたします。

共同求人研究会

### 平成23年度合同企業説明会

こんな時だからこそ求人においても穴埋め的な（戦術）採用ではなく、企業の10年、20年後の形を考え、計画的な（戦略）採用を図ることが大切です。

ぜひともご参加下さい。

日時：平成23年4月16日（土）

13:00～16:00

会場：四日市市内

参加費：年間60,000円

（今回のみのスポット参加は  
30,000円）

詳細は決まり次第ご連絡いたします。

参加のお申込・お問い合わせは事務局までご連絡下さい。



### 新会員のご紹介（敬称略）

（22.11.23～22.12.14）

つかもと まこと  
塚本 誠

千巻印刷産業（株）

伊勢市宮後2丁目9-41

専務取締役

0596(26)0101

業種 印刷物全般、ホームページ作成、ビデオ撮影

南勢支部 紹介者：菱田幸子



事務局の年末年始休暇のお知らせ

12月29日（水）～1月4日（火）

1月5日（水）より業務を行っております。

本年中は何かとお世話になりました。  
来年も皆さまにとって良き年となりますよう御祈り申し上げます！



### 採用に役立つ事業のご案内

#### 業務適性診断テスト

業務適性診断テストは、求職者の外面に現れる性格と内面の性格を見るものです。検査結果からはどのような仕事に向いているかがわかり、特に採用時に面接だけではわかりにくい点を判断する材料として最適です。

検査料 1人 1,400円（用紙、検査料）  
（共同求人研究会参加者は、1,000円）

#### 知的能力診断テスト

知的能力診断テストでは検査の結果から言語理解力や推理力、表現力といった事がわかります。求職者の持っている能力や資質を判断するのに最適です。

検査料 1人 1,200円（用紙、検査料）  
（共同求人研究会参加者は、800円）



## 第41回中小企業問題全国研究集会

日時：3月3日(木)13:00  
～3月4日(金)12:00  
会場：ホテルグランヴィア岡山  
アークホテル岡山  
ままかりフォーラム  
参加費：20,000円  
(交通費・宿泊費別途)  
申込締切：2月18日(金)  
(2月19日以降のキャンセルは参加費の  
全額をご負担いただきます)

参加のお申込・お問い合わせは事務局まで  
ご連絡下さい。  
詳細は同封のチラシをご覧ください。



### 〈同友コラム〉

#### 社名の由来

一九五一年創立以来四〇年間、三井金物でやってきて地元ではある程度名前の通った社名を変えようと思ったのは私が社長に就任してまもなくのこと。一九九一年に人材確保のため同友会の共同求人にはいり本格的に高校、大学の就職課を訪問した時の事です。

就職課の先生方に、社名が会社の事業内容と違うのではないかと。学生は金物という鍋、釜類(家庭用器物)を扱っているような感覚を持つが、現在はそういうものは扱っていなくて建築資材、設備を扱っているのでしょうか」という指摘を頂きました。確かにその当時すでに家庭用器物は扱っていませんでしたので社名を変更しようという事になりました。

創業以来四〇年間慣れ親しんできた社名を変えるわけです。なかなか新しい社名が決まりません。社員から募集したり専門家に相談したり紆余曲折を重ねた結果、三井金物の三井は残し三井マテリアルという案で決着しかけたましたが私は納得できずGOを出しませんでした。なぜならば私は新しい社名にはなにか社会に向かっている自社の姿勢なり使命なりのメッセージを込めたものになりたいと思っていたからです。

一九九四年 株式会社 ミツイバウ・マテリアル  
に社名変更

ミツイバウ・マテリアルのミツイは前述のように  
創業者の名前です。マテリアルが英語の「材料」、真

(株)ミツイバウマテリアル 三井義則

ん中のバウにメッセージが込められています。バウは英語ではなくドイツ語で「建築、家」の意味ですがこのバウはただそれだけではありません。建築やデザインをかじった人なら知っていると思います。有名なバウハウス(Bauhaus)からもらったバウなのです。バウハウスは一九一九年、建築家ワルター・グロピウスがワイマールに設立した学校です。美術と工芸を融合し、新時代に向けての工芸、デザイン、建築の刷新を図ろうとしたものでした。三三年にナチス政権によって閉鎖に追い込まれるまで、工業生産のなかでの「デザイン」、「機能主義に立脚した建築」など近代デザインや近代建築に大きな影響を与えました。そしてその理念はかならずしもこうした意味での近代主義に偏っていたものではなく、今日もなおそこに立ち返らなければならぬデザインの基本的な活力を併せ持っています。

弊社は「三重県の住まいづくり、街づくりをトータルにサポート」することを掲げています。私は美術大学でインテリアデザインを学んだ後約一年間ヨーロッパで有名な建築物を見て回りました。そしてその調和の取れた美しい街並みに感動して帰国しました。それゆえ建築物は住むためのあるいは商業的、工業的な機能を果たすだけでなく街並みにマッチしたしかもオシャレなものだないと存在する価値がないという思いがあります。ただ単に建築資材、設備を供給するだけでなく私どもの事業を通じて「存在する価値のある街並み」をつくるお手伝いができればこれほど幸せな事はないと思っています。

## 各支部例会のご案内

### 桑名支部 1月例会

テーマ『若き5代目経営者が語る』

日時 平成23年1月18日(火)  
18:45~21:00

会場 ぎんごんちゃん桑名店

講師 牧野利之氏  
(有)利加エンタープライズ  
代表取締役

### 北勢支部 1月例会

テーマ『今を生きる』

~いま求められる発想と転換~

農業ビジネスと障害者雇用

日時 平成23年1月19日(水)  
19:00~21:00

会場 四日市シティホテル

講師 伊藤良一氏  
(株)レグルス 代表取締役

### 中勢支部 1月例会

テーマ『仏教からみた海国なき日本と  
少子高齢化』 その光と闇

日時 平成23年1月26日(水)  
18:45~21:00

会場 アスト津

講師 梅林久高氏  
高田中学校高等学校 教頭  
真宗高田派正念寺住職 輔講  
高田派教学院第四部会 研究員

### 伊賀支部 1月例会

テーマ『新年会』

日時 平成23年1月21日(金)  
18:30~20:30

会場 SWEETS RING CAFE  
名張市希中央5-19 ナバリエ1F  
(アクトス横)

参加費 2,500円

### 南勢支部 1月例会

テーマ『2011年経済の展望と経営課題』  
~新年例会~

日時 平成23年1月18日(火)  
17:30~20:50

会場 鳥羽国際ホテル

講師 石川裕史氏  
(有)IMC経営センター  
代表取締役

参加費 10,000円

### 尾鷲・熊野グループ 1月例会

未定



## 第9回理事会まとめ

### 1、各種報告事項

第18回経営研究集会の報告（略）

### 2、正副代表理事会議の報告及び次年度方針素案

正副代表理事会議の報告（略）及び次年度方針素案については、服部代表理事より報告がありました。また報告を受けて次年度の各社の方針と活動テーマについて意見交換を行ないました。

主な意見概要は以下の通りです。

- ・既存顧客だけでは売上は減少していく。顧客の新規開拓とそのための情報収集活動を強化している。
- ・先の不況の折に運送業界で起こった“業態革命”から、新しいサービスやビジネスモデルが生まれた。そうした改革の目線で自社が関わる市場を捉えれば、まだまだシェアを上げられる余地がある。
- ・企業淘汰がこれから進む。市場のニーズをしっかりと把握した上で商品づくりをして企業存続を図る。
- ・今年以上に厳しい状況になるため、これまでの活動をしっかりと見直し、忍耐強く取り組んでいく。
- ・少しでも変化し前進することを心掛け、変化を比較し変わるために学び成長していくことをスローガンとしている。
- ・国内の既存市場が今後縮小していく中で、これまでの業種や業態の垣根を越えた取組が求められている。
- ・政策や規制の変更によって市場への参入条件が変わってくる。中小企業の持つ地域性や自社の地域での占有率を高め、地域一番の企業づくりを目指す。
- ・経営者がモチベーションをしっかりと維持し、自社の強みや優位性を活かせるニッチな市場への戦略的な展開を図ることが大切である。
- ・多くの販売形態が不調な中でネット通販だけが伸びており、こうした変化にもしっかりと対応していかななくてはいけない。そ

れと合わせて、これまでの活動に付加価値を創造していくことが必要である。

今回出された意見をもとに次年度の活動テーマを正副代表理事会議で検討し、次回理事会に提案することとしました。また活動方針素案についての意見を次回理事会で集約し、最終調整を行なうこととしました。

また新たにWebマーケティング・ITツールの活用をテーマに活動を行なう「ITNet研究委員会」(仮称)の設置提案があり、承認されました。

### 3、各委員会の報告と提案

総務委員会

- ・11月度月次決算報告（略）
- ・第29回定時総会については、開催要項を確認した上で、記念行事での問題提起者候補を次回までに選定し、提案することとしました。

開催日時 平成23年4月22日（金）  
13：30～

開催場所 希望荘  
主管支部 桑名支部  
共同求人研究会

- ・超就職氷河期と言われているが、大手企業と中小企業との求人倍率では格差がある。海外進出の進む大企業は採用面でもグローバル化し、日本人の雇用は減ってきている。大手企業の国内雇用が縮小していく中で、雇用の受け皿として中小企業への期待が高まってくると同時に、中小企業においてはより良い人財を確保するチャンスでもある。

### 4、入退会者の承認（略）

### 5、前回理事会以後の活動報告（略）

### 6、その他

長嶋氏・矢野氏・宮崎氏の受章を祝う会の開催については、こちら側の意向が先行したため企画や趣旨をしっかりと伝えたいうえで改めて三氏の意向と都合を確認し調整し仕切り直すこととしました。